

| | | | |
|------|---------|----------------------|----|
| 授業科目 | 地域看護学概論 | 2 学年・前期・1 単位 (15 時間) | |
| | | 看護 | 必修 |

| | | | |
|---------|--|-----------------|--|
| 科目担当責任者 | 上田泉 (保健医療学研究棟 E104 号) e-mail : iueda@sapmed. ac. jp | 非常勤講師 連絡担当教員 | |
| 担当教員 | 青木亜砂子、深川周平 | | |
| 概要 | 地域看護は人々の健康な暮らしを支援する看護として、疾病構造の変化とともに看護支援の内容や方法を変化させてきた。本科目は、地域看護の歴史の変遷を概観し、地域看護の定義や理念、地域看護活動の目的や地域看護活動の基盤となる関連法規や制度について学習する。市町村・保健所、産業、学校、在宅という地域看護活動の場とそれぞれの特徴を学習する。また、地域看護の活動方法の共通する特性と、地域看護の機能と役割について学習する。 | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域看護の歴史や地域看護に関連する諸制度を理解し、地域看護の概念の変遷を述べることができる。 2. 地域看護の活動方法とその特性を述べるができる。 3. 地域住民に焦点をあてた行政看護、特定集団を対象にした産業看護、学校看護並びに、在宅療養者と家族に焦点をあてた在宅看護の概要について述べるができる。 4. 地域看護の機能と役割について述べるができる。 | | |
| 関連科目 | 健康管理論、保健福祉行政論、地域看護方法、地域看護実習 | | |
| 評価 | 評価対象 | 評価割合 (%) | 備考 |
| | 定期試験 | 60% | 定期試験(60%)、レポート記載内容(30%)、参加態度：グループ学習への参加状況(10%) |
| | レポート | 30% | |
| | 参加態度 | 10% | |
| | | | |
| | | | |
| 教科書 | ①荒賀直子他編 [最新版] 「公衆衛生看護学.JP」 インターメディカル | | |
| 参考書 | ①麻原きよみ責任編集 [最新版] 「公衆衛生看護学テキスト1 公衆衛生看護学原論」 医歯薬出版 | | |
| 履修上の留意点 | 講義と見学実習の統合により学習をすすめるため、欠席をしないこと。 グループ学習では、自分の意見をグループに提示し、グループメンバーの意見をよく聞いて、学習を深めること。 | | |

| 実施回 | 内 容 | 事前・事後課題 | 形態 | 担当教員 |
|-----|--|--|----|------|
| 1 | オリエンテーション 地域看護の歴史的概観、地域看護の定義、理念、目的、関連法規 | 事前：関連する学習内容の予習 事後：関連法規をまとめる | 講義 | 上田 |
| 2 | 地域看護の活動方法とその特性 | 事前：関連する学習内容の予習 事後：地域看護の活動方法をまとめる | 〃 | 〃 |
| 3 | 学校看護の対象者と看護活動 | 事前：関連する学習内容の予習 事後：学校看護の対象と看護活動をまとめる | 〃 | 〃 |
| 4 | 産業看護の対象者と看護活動 | 事前：関連する学習内容の予習 事後：産業看護の対象と看護活動をまとめる | 〃 | 〃 |
| 5 | 市町村における行政看護の対象者と看護活動 | 事前：関連する学習内容の予習 事後：市町村における行政看護の対象と看護活動をまとめる | 〃 | 深川 |
| 6 | 保健所における行政看護の対象者と看護活動 | 事前：関連する学習内容の予習 事後：保健所援助における行政看護の対象者と看護活動をまとめる | 〃 | 青木 |
| 7 | 在宅療養者とその家族を対象にした看護活動 | 事前：関連する学習内容の予習 事後：在宅の看護活動の特徴のまとめ | 〃 | 上田 |

| | | | | |
|---|---------------|---------------------------------|---------------|----|
| 8 | 地域看護の機能と役割の検討 | 事前：グループ学習の準備 事後：復習と最終レポートの作成 | グループ 学習・講義 | 上田 |
|---|---------------|---------------------------------|---------------|----|